

「なんとなく」を、 数字に変える。

センサーとダッシュボードを、初期費用を抑えて導入できる

IoT 見える化レンタルプランのご提案



UG65（親機）



EM300-TH



CT101



CT303



EM300-DI

スマートライト株式会社

products.smartlight.co.jp

2026年8月

現場の「感覚」は、たいてい正しい。 ただ、それを動かす根拠がない。

施設や店舗の現場では、日々こうした会話が交わされています。どれも経験に裏打ちされた、おそらく正しい感覚です。
しかし「たぶん」のままでは、**投資も改善も動きません。**

VOICE 01

「あの倉庫の奥だけ暑い気がする」

ISSUE

何°Cなのか誰も答えられない

VOICE 02

「電気代が上がったが原因が不明」

ISSUE

請求書は建物単位。内訳がない

VOICE 03

「あの機械、そろそろ替えときだ」

ISSUE

感覚では稟議が通らない

VOICE 04

「休みの日も何かが動いている」

ISSUE

何がどれだけ動くか未確認

数字が出た瞬間、議論の質が変わる

現場を最もよく知っているのは、外部のコンサルタントではなく、そこで**毎日働いている方々**です。
足りなかったのはアイデアではなく、**アイデアを裏づける数字**だけでした。

STEP 01

BEFORE

感覚と経験だけ

「暑い気がする」「高い気がする」。
共有できず、優先順位もつけられない。

STEP 02

MEASURE

センサーで計測

温湿度・電流・積算値を自動収集。
24時間365日、人手をかけずに記録。

STEP 03

AFTER

現場が動き出す

「ここを直せば効く」が全員に見える。
改善が自走しはじめる。

工事を最小限に。置くだけで、見えはじめる。

本プランは **LoRaWAN**（省電力・長距離の無線規格）を使います。センサーは電池式または自己給電式で、センサー側の配線工事は原則不要。ゲートウェイ1台で広いエリアをカバーします。



ネットワークサーバーを内蔵したゲートウェイ UG65 が中心。

センサー設置場所に配線は不要。電源さえ確保できれば、設置後すぐに計測が始まります。

導入がかんたんな4つの理由

REASON 01

配線工事が不要

電池式・自己給電式のため、
電源配線を引く必要が
ありません

REASON 02

社内LANに接続 しません

LTE回線を内蔵。
情報システム部門の
審査が不要です

REASON 03

電波がしっかり 届く

920MHz帯は障害物に強く、
屋内でも数百m、
見通しでは数km届きます

REASON 04

後から 増やせます

ゲートウェイ1台で
最大2,000台のセンサーを
収容できます

コストも、検討の手間も、最小限に。

配線・社内LAN接続・電波距離・拡張性。

導入時に立ち上がりやすい4つのハードルを、機器の特性でひとつずつ低くしました。

日本国内で、そのまま使えます。



すべて、日本の**技適**を取得済み。

本プランで使用する機器は、いずれも国内の電波法に基づく**技術基準適合証明（技適）**を取得済みのモデルです。
免許も申請も不要で、届いた日からそのままご利用いただけます。

LoRaWAN とは

省電力・長距離通信に特化した国際標準の無線規格です。Wi-Fiのように大容量データは送れませんが、「**温度**」「**電流値**」といった小さなデータを、電池1本で数年間、遠くまで送ることに最適化されています。IoTセンサー用途では世界的に最も普及している方式のひとつです。

親機はこの1台



LoRaWAN ゲートウェイ / Milesight UG65

建物内センサーの電波を受信し、LTEでクラウドへ送る親機。

最大8ch同時受信、センサー2,000台まで収容。

LTE回線・クラウド費用込み

受信

8ch 同時

収容

2,000 台

通信

LTE 内蔵

機能

サーバー内蔵

何を、数字にするか。



温湿度センサー

Milesight EM300-TH

温度と湿度を計測。防塵防水IP67で屋外・高湿度環境にも設置可能。電池寿命は最長10年（10分間隔送信時）。

温度記録の自動化



電流センサー（単相）

Milesight CT101

既存の配線を切らずにクランプで挟むだけで計測。1～100A対応。電池不要（計測対象の電流から自己給電）。

設備ごとの電力把握



電流センサー（三相）

Milesight CT303

三相回路の3本を同時に計測。3～300A対応、電池不要。工場の動力盤・生産設備・大型空調向け。

動力設備の負荷分析



パルスカウンター

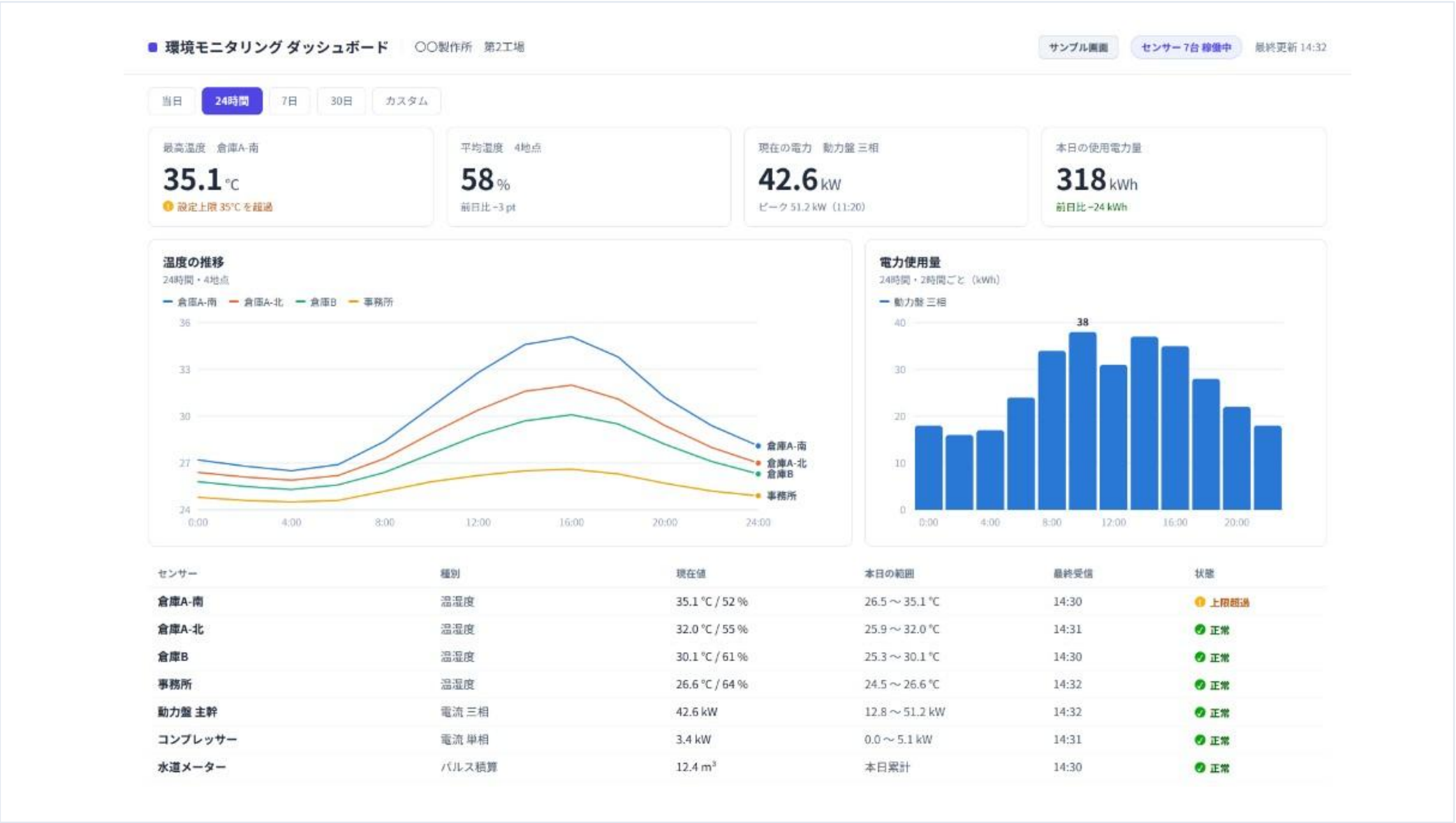
Milesight EM300-DI

水道メーター・ガスメーター・電力量計などのパルス出力を受け取り、積算値を自動収集。

検針自動化と漏水検知

PCでも、スマホでも。

現場・事務所・外出先のどこからでも、同じ画面を確認できます。



※ 上記デモダッシュボードは下記のURLでお客様のPCやスマートフォンから確認できます。
<https://showcase.smartlight.co.jp/energy-env/>

ダッシュボードで確認できること

収集した数字は、ご契約者専用のダッシュボードに自動で蓄積されます。PC・スマホからいつでも確認できます。

REAL-TIME

現在値の一覧

全センサーの現在値を一覧表示。異常値は色で強調されます。

TREND

時系列の推移

日・週・月単位のグラフ。曜日や時間帯のクセが一目で分かります。

ALERT

しきい値通知

設定値を超えたらメールで通知。現場に張り付く必要がありません。

EXPORT

CSV書き出し

ダウンロードして社内報告や既存システムにも活用できます。

見えるのは「いま」だけではありません。
過去から現在までを一つの画面に並べられるからこそ、「いつもと違う」に早く気づけます。

数字が出ると、こんなことが見えてきます

※このページは「導入するところ見える」という説明です。実測値・実績ではありません。

温湿度 「暑い気がする」が、局所的な高温として数字で現れる。 → スポット空調の位置や作業シフトを見直す根拠になる	単相電流 「休日も何か動いている」が、誰もいない土日の電流として現れる。 → 切り忘れ設備を特定。運用ルール変更だけで待機電力を減らせる	三相電流 「古い機械が電気を食っている気がする」が、同種設備との比較で数字になる。 → 設備更新の優先順位を数字で説明できる	パルス積算 「水道代がじわじわ上がっている」が、深夜帯の使用として現れる。 → 漏水の早期発見に。手検針も不要になる
--	---	---	---

いずれも、数字がなければ出てこなかった結論です。

分析は外注しません。数字を見た現場のスタッフが、自分で見つけていきます。弊社はそのお手伝いをします。

エネルギー管理・報告の裏づけにも。

省エネやCO₂削減で難しいのは、「どこから手を付けるか」と「効果をどう示すか」です。

設備ごとの実測データは、その両方を支えます。

POINT 01

打ち手が決まる

請求書に載るのは建物ごとの合計だけです。設備別・系統別に測ることで、どこを削れば効くのか具体的に決まります。

POINT 02

取組を裏づける

省エネ法の定期報告やCO₂排出量の算定に取り組まれる場合、省エネ措置の実施状況と削減効果を示す記録として活用できます。

月次・年次の集計値をCSVで書き出せるため、
報告資料の作成負担も軽くなります。

※ 報告義務の対象範囲や報告値の算定方法は、事業者の規模や適用される制度により異なります。

「レンタル」という、選び方。

機器はご購入いただく必要がありません。必要な期間だけレンタルしていただく方式です。

POINT 01

小さく始められる

まず1拠点・数点から。
効果が確認できてから
範囲を広げられます。

POINT 02

あとから増やせる

センサーの追加は月額のみ。
初期費用は再度
かかりません。

POINT 03

保守もおまかせ

通常使用での故障は
無償交換。機器の
管理はすべて弊社が
行います。

料金は構成に応じて個別にお見積りいたします。

お申し込みから約3～4週間で稼働します。

1 ヒアリング

「気になっていること」をお聞かせください。測るべき対象とセンサーの種類・台数・設置位置を設計します。

2 ご提案・お見積り

構成を確定し、正式なお見積りを提出します。設置工事が必要な場合はこの段階で切り分けます。

3 準備・設定

機器の設定、通信確認、専用ダッシュボードの構築を弊社で完了させたうえで出荷します。

4 設置

設定済みの状態でお届け。電源投入と設置のみで通信が始まります。

5 運用開始

ダッシュボードの使い方をご説明。以降は定期的な気づきの共有と改善のご相談を承ります。

ご確認事項

- ・最低契約期間3か月とし、以降は1か月単位の自動更新となります。解約は1か月前までにご連絡ください。
- ・機器の所有権は弊社に帰属します。契約終了時にご返却をお願いいたします。
- ・通常使用の範囲での故障は無償交換いたします。紛失・水没・改造等による損傷は実費のご負担をお願いする場合があります。
- ・LTE電波が届かない場所では通信できません。
- ・設置環境によっては現地調査が必要となる場合があります。

まずは1拠点・小さな構成から試していただくことをお勧めしています。

数字が出てから、次に測るべきものを一緒に考えていければと思います。

お問い合わせ

ご不明な点、構成のご相談など、お気軽にお問い合わせください。

スマートライト株式会社

担当	中畑
TEL	080-3448-8740
FAX	03-5738-7904
メール	info@smartlight.jp
Web	products.smartlight.co.jp

まずは「**気になっていること**」をお聞かせください。
測るべき対象から一緒に設計いたします。